

平城京天平祭・春 2019
「ものづくり広場」 出展報告

坂東 久平

10連休の後半、5月3日から5日の3日間に、平城京天平祭・春 2019 が開催された。今年は場所が朱雀門ひろばに変更された。

私たちのブースは、「ものづくり広場」の一番奥にあって、広い会場の端でもあり条件はあまり良くないように思われた。



この3日間は、好天で夏を思わせるような暑い日が続いた。県の発表によると初日3日は1万8千人、4日は1万4千人、5日は1万2千人で、3日間で44,000名（昨年43,000名、一昨年44,000名）であった。

私たちは、4日と5日の2日間に出店したが、連休疲れと暑さのためか、ものづくり広場での来場者は昨年に比べ少ないように思った。



今年の、出しものは、「ジュズダマブレスレット」と「竹の鯉のぼり」の自然工作で、「竹の鯉のぼり」部品は、里山Gのメンバーが主力となり、「ジュズダマブレスレット」部品は、桜木さんが中心になり、それぞれ各200セットを準備した。



スタッフとして、両日共に各17名、延べ34名の会員の参加と、多数の会員に応援来場もいただいた。



私たちのブースにお客さまを誘引(?)するため、OさんやMさんなどが、広場の入口付近まで出張し、「竹の鯉のぼり」見本を片手に、目星のお子さまに声を掛けていた。

スタッフの心配をよそに、初日の開始と共にお客さまが続々とお見えになり、大変な賑わいを見せた。

一時は、ブースが満席となり、隣の空き家「青丹」に臨時のスペースを作って対応したりした。



お子さまお一人に保護者4名なども珍しくなく、熱心に写真を撮りながら、技術指導(?)をしていた。

お年寄りのお客さまは、孫へのお土産にと、熱心に制作に励んでおられた。

子供たちの発想は素晴らしく、つぎつぎ名作が誕生した、時間をユックリ使って気の済むまでの工作を楽しんでいただけたと思う。



2日間で155セット（初日：75セット、2日目：80セット）を提供した。

材料の準備、会場への搬入、搬出、会場の運営に協力いただいた、会員及びスタッフの皆さま、ありがとうございました。

(担当幹事：平田・桜木・坂東)